

平成24年9月3日

各位

病虫害防除所長

平成24年度病虫害発生予察技術情報資料（第6号）の送付について

普通期稲のトビイロウンカ等の発生状況について

本年は九州を中心にトビイロウンカの警報・注意報が相次いで発表されています。高知県内では8月下旬現在、各地域とも少発生で推移していますが、これまでに飛来が確認されている地域もあり、今後の発生推移には十分注意が必要です。

そこで、県内の水稻（普通期稲）において、8月中下旬に実施したトビイロウンカの発生状況の調査結果及び予察灯への飛来状況等について資料を送付しますので、今後のトビイロウンカの発生動向に注意するとともに、防除指導の参考にしてください。

また併せて葉いもちの発生状況についての資料を添えてありますので、参考にしてください。

記

本年のトビイロウンカの発生状況は、表1のとおり県内全域で発生面積は少発生となっています。また、日本植物防疫協会によるウンカ類の飛来予測システムの飛来予測値（表2）や予察灯での誘殺数（表3）を参考にウンカ類の飛来状況を判断すると、6月から8月にかけて断続的に飛来があったものと推測されます。西部では調査ほ場では少発生ですが、予察灯では継続して飛来が確認されており、ほ場に侵入があるのか注意してください。現在、普通期稲の生育ステージは穂揃期～乳熟期で収穫まで日数がある圃場が多いと思いますので、坪枯れ等の被害を出さないように注意してください。

防除にあたっては、農薬安全使用の遵守および周辺の食用農作物への飛散防止対策について十分な注意をよろしくお願いします。

なお、トビイロウンカの警報は宮崎県で、注意報は鹿児島・熊本・長崎・大阪府で発表されています（8月30日現在）。

また葉いもちは、県東部と西部では平年並みの発生ですが、中西部ではやや多、中央部では多発生となっています（表4）。発生の見られるほ場では、カメムシ等との同時防除を行うなど、穂いもちに移行させないように注意してください。

第1表 普通期稲におけるトビイロウンカの発生面積(8月末現在 単位:ha)

	栽培面積	本年(発生面積率)	平年
東部	467	7.8(1.7%)	15.4
中央部	1402	2.0(0.1%)	12.8
中西部	2508	0.0	50.0
西部	963	0.0	21.8
合計	5340	9.8(0.1%)	100.0

第2表 ウンカ類飛来予測システムによる飛来予測日

5月	15日
6月	8・16・17・21日
7月	1・2・3・4・5・6・13・14・15日

※3次元の風速・風向や気温データ（毎正時）を解析して、中国大陸等からのウンカ類の飛来を予測するシステム

第3表 予察灯でのトビイロウンカ誘殺数(頭)

香南市		四万十市	
8月12日	2	6月4日	4
		6月6日	3
		6月20日	2
		6月22日	3
		6月25日	2
		6月27日	6
		7月2日	5
		7月4日	4
		7月6日	2
		7月9日	3
		7月11日	5
		7月13日	3
		7月16日	4
		7月20日	3
		7月23日	3
		7月25日	2
		7月27日	1
		7月30日	3
		8月3日	3
		8月10日	2
		8月13日	2

第4表 普通期稲における葉いもちの発生面積(8月末現在 単位:ha)

	栽培面積	本年(発生面積率)	平年
東部	467	6.2(1.3%)	6.1
中央部	1402	338.5(24.1%)	90.3
中西部	2508	564.3(22.5%)	348.4
西部	963	231.1(24.0%)	242.5
合計	5340	1140.1(21.4%)	687.3